

## 留学で得られたもの

情報文化学科 2年 小林柚子葉

私が留学に参加しようと思ったのは本場の英語に直に触れてみたいという思いと日本とは異なる文化を体験したいという思いがあったからだ。このような貴重な機会は今しかないと思い、あまり悩むことなく行くことを決意した。

パスポートを作り、VISA を取りに東京まで行き、必要な物を買そろえ、慌ただしく準備をしていたらあつという間に出発日が迫ってきていたのを覚えている。キャリーケースに荷物を詰めたのも行く前日だった。それでも無事に忘れ物をすることなく成田空港に着き、日本を発った。飛行機に乗った時点で CA 達も周りの人達もほとんどが外国人。案内放送や飲み物を頼む時も英語に変わる。その時私のはっきり、ゆっくり話してもらわないと聞き取ることができなかった上に自分の言いたいことが上手く伝わらなく少し不安になった。フライト中は映画や音楽、ゲームをすることができ、機内食は毎回美味しく、特に退屈することなく気づいたらアメリカに到着していたので感動すると思っただけに少し拍子抜けしてしまった。寮に着くと代表者達が揃って歓迎してくれ明日からの予定や寮のルールを説明してくれた。そして、部屋へ行くことになりルームメイトはどんな人だろうと緊張していたら友人と一緒にだったのが少しがっかりしたが今では良い思い出である。

授業は最初のテストで2クラスに分けられ私たちのクラスでは中国人三人、韓国人が一



人、あとは全員 NUIS というアジア率 100%のクラスであった。授業は Writing と Reading、listening と Speaking、そして Grammar を分けられたクラスで行い、TOEIC と American culture の授業は NUIS だけで受けた。先生たちの英語ははっきりとした発音でさらに分かりやすいように簡単な単語やジェスチャーも含めて話してくれた。そして一人でも疑問を持っている生徒がいるならば納得するまで教えてくれる。日本ではかけられるまで発言をしなかった私だが、ここでは自分から行かなければポイントが入らないし積極的な中国人たちに影響されたこともあってか、むしろ答えたい、かけてくれという感情が生まれ自分から手を挙げていた。きっとこのような感情は日本にいたら生まれることもなく消極的な私のままだっただろう。それに気づいたとき些細なことだけれど一つ自分を変えることができ、ここに来てよかったと感じた。しかし、課題の量が多いことには驚いた。最初のころは課題を終わらせるのにかなりの時間がかかり寝るのは翌日だったこともあった。金曜日は授業がないため木曜日の放課後がいつも待ち遠しかった。だが、だんだんと課題にかける時間も減っていき余裕ができるようになったと思った時、頑張っていたあの時間は確実に私を成長させるための力になったということが実感できた。

同じクラスになった中国人と韓国人に対して私は最初、日本人を嫌っていたらどうしようという思いを抱いていた。日本にいるときニュース番組でよく見た両国との対立のイメージが強すぎて、ここにいる彼らも同じような感情を持っているかもしれないと思うと自分から話しかけることができなかつた。しかし、彼らはそんな私に対し壁を作ることなく積極的に話しかけてきてくれた上に日本語を教えてほしい、日本をもっと知りたいと言ってきた。中でも中国人のネオはみんなと仲良くなりたい想いが人一倍強く漢字で名前を書いてくれと周りに頼んでは名前の意味を尋ねる。わたしの名前に対して、僕は柚子が大好きだから柚子を食べたら君は葉っぱだけになっちゃうねと冗談を交え

て話をしたこともある。韓国人のヨンジュンはクラスの中で一番年上の 25 歳。そしてクラスで一人だけの韓国人だったが見た目や仕草のおかげで周りからは可愛い可愛いと愛されていた。日本語がだいぶ分かる人だったのでたまに日本語で話してしまうこともあった。彼らと一緒にイベントに行ったりご飯を食べに行ったりと彼らのおかげで毎日楽しく留学生活を送ることができた。今までの私の中のイメージは無くなり、むしろみんなのことが大好きになっていた。さらに関わりのない他の中国人や韓国人、その他の国の人たちでさえもすれ違う時にこんにちははやさようならと知っている言葉で挨拶をしてくる人や食堂で気軽に話しかけてくる人、店をブラブラ歩いているときには日本に行ったことあるんだよと言ってくる人もいたり周りは良い人たちばかりだった。だが、そこで私が後悔したのは自分から話しかけることができなかつたことである。良い人達ばかりと分かっているのに上手く話せなかつたらどうしようと思うとなかなか勇気を出すことができなかつた。それは今でも心残りである。だからこそまたこのような機会があればそれを糧にして話しかけられるようになりたいと決心することができた。

大学ではたくさんのイベントが行われている。アメフトの試合の時には近所の人達も集まってスタジアム内は大熱狂になるし、有名アーティストを呼んでライブが行われたりもする。頭にセンサーを付け、おもちゃの銃で戦い合う Laser battle というゲームや、爬虫類を触るイベントもあった。中でも私が一番楽しかったのは寮を使って開催されたお化け屋敷である。廊下は薄暗く霧がかかっている雰囲気がとてもあった。お化け役の人メイクや変装をしておどかしてきた。こんな本格的なイベントを生徒達が自分で考えて作ったのかと思うと感動した。おかげで日本とはまた違った学校生活を満喫できてとても良かった。しかし、課題が終わらなくて行けなかつた時もあり残念だった。なので留学に行く人たちはここには書ききれなかつたイベントもたくさんあるので頑張っ課題を終わらせてより多くのイベントに参加してほしいと思う！



二人につき一人 Conversation Partner という週に二回、一時間だけネイティブの方と話しをする機会がある。私達の CP は Melanie という金髪でスタイルの良いとても美人

なお姉さんだった。私はこの CP の時間が緊張して仕方がなかった。初めのうちは質問すらも聞き取ることができず、わからない単語も多かった。そのたびに辞書で調べたり、何回も聞き返したりすることがあったため絶対心の中ではうんざりしてる！と思うこともあった。けれども彼女は嫌な顔一つせず何回だってゆっくりと話してくれたし彼女自身もパソコンを使って言葉の意味を教えてくれたり写真を見せてわかりやすく話してくれた。おまけに **Melanie** は毎回 **Facebook** や **You tube** で面白い動画や可愛い動物の映像を見せ雰囲気を和ませてくれた。彼女自身の話も面白く、聞き取れるようになってからはいつも笑わせてもらい今までの緊張感を返してもらいたいほどだった。自分達の家族や趣味、アメリカと日本の異なる文化についての楽しい話から戦争、医療などのシリアスな話など幅広い分野の話をたくさんすることができた。彼女の考え方や意見を聞いていると納得するほどと納得することもあるれば私とは違うなと考えさせられる場面もあった。異国の人と同じ立ち位置で話をするという貴重な経験をし、本当に良い刺激ももらえて私は人間的に一步成長することができたと思う。

留学の中で一番の思い出となったのはホームステイをさせてもらった時である。アメリカでは一大行事である **Thanksgiving** という祝日があり、その間学校や寮が休みになる。そのため私達はホストファミリーの **Donella** と **Steve** 夫婦の家にお世話になることになった。彼らの家はとても大きく、私達の部屋は地下だったがテレビやキッチン、バスルームがついていて好きに使っていいと言われた。最初のほうは遠慮していた私達だったが彼らの気さくな性格のおかげですぐにリラックスすることができた。夜になると一緒にアイスを食べながらテレビを見てくつろいだり勉強を教えてもらったりした。彼らはボランティアでタイに行っていたことがあり、タイの食べ物や生活を教えてくれたりもした。二人は本当にタイが好きなんだという想いが伝わってきて同時に日本のことも同じくらい好きになってもらいたいと思った。次の日には親戚みんなでご飯を食べるからとおしゃれな雰囲気のレストランに連れて行ってもらった。私は家族が揃って料理を作っていたから食べに行くときみんながみんなそういうわけではないのだと知った。親戚の方々は私達を歓迎してくれたし中には日本語を少し話せる人もいてにぎやかだった。わいわいしているうちに出てきた料理は美味しかったが量が多く、さすがアメリカだと思った。さらに別の日には私達を日本食の店に連れて行ってくれた。高かったが本格的な店で私達はうどんやそば、寿司を食べた。どれも美味しく、徐々に



日本食を食べれてとても嬉しかった。その後、ショッピングモールへ行き一緒に買い物もした。帰ってきてからは四人でクリスマスツリーに飾りつけをして写真を撮をたくさん撮った。他にも教会に行って歌を聞きお祈りをしたり親戚の小さい子供たちと遊んだり毎日が本当に楽しかった。彼らは初めて会った時から別れる時までずっと優しく親切で明るい人達だった。日本とは異なる生活や文化の違い、宗教などこのホームステイで学んだことはたくさんある。私はステイ先がこの二人で本当に良かったと思っている。結局日本のことをたくさん教えることはできなかったが二人もこの数日間楽しんでくれ、私達のことを忘れないでくれたら嬉しいと思う。

この留学を経て、私は最初の目的以上に多くのことを学ぶことができた。最初の方では何を言っているのかちんぷんかんぷんだった英語が慣れてくるにつれ何を話しているのかがわかるようになり相槌をうつこともできるまでになった。少しではあるが確実に成長はしたと思える。アメリカの学校生活、Halloween や Thanksgiving などの行事ごと、キリスト教についてや、周りの人達の優しさや温かみなど、留学に参加したからこそ得られたものがあつた。そして、受け身ばかりではなく積極的に自分の意見を言うことの大切さや日本や日本人が他国からどういう風に見られているのかなど国際社会的にも得られるものがあつた。楽しいことばかりではなかったけれどもそれ以上の素晴らしい思い出を作ることができた。ここに來れたのは家族のおかげであり、そして私が無事四か月過ごすことができたのは NUIS の仲間達や周りの人達のおかげである。この留学は私にとって一生忘れることのない大切な思い出になった。



